

令和4年度塩素等漏洩訓練を実施しました

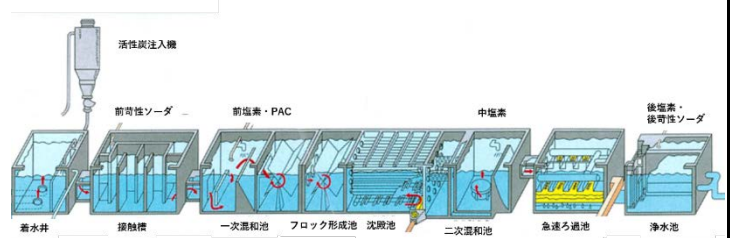
令和4年4月26日に、塩素等漏洩訓練を実施しました。

安心して飲める水道水を作るために、取水した原水に様々な薬品を使用して水処理を行います。南部山浄水場では、主に液化塩素、苛性ソーダ、ポリ塩化アルミニウム（PAC）の薬品を注入し、24時間絶えず水処理を行っています。

液化塩素が気化すると、人体に非常に有毒な塩素ガスとなり、その体積は約460倍になります。万が一漏洩した場合に備えて、毎年訓練を行っています。また、南部山浄水場には漏洩した塩素を中和するための、塩素中和設備が設置されています。

訓練には、当事務所職員及び施設運営権者の計30名が参加しました。内容は、ビデオ・資料による塩素の一般的な特徴や塩素漏洩時の対処法の説明、使用する薬品（液化塩素・苛性ソーダ・PAC）の安全データシートの説明や過去の塩素漏洩事故事例、漏洩時に使用する機器や空気呼吸器の使用の確認、塩素中和設備及び塩素ポンベ室の説明を行いました。

本訓練では塩素の危険性及び対処法を学びました。また、塩素という薬品が浄水場内で働く職員のみならず、外部の一般住民にも影響を及ぼす薬品だという意識を持ち、日頃の維持管理及び非常時の準備に努めてまいります。



・ 空気呼吸器の装着演習



・ 塩素ポンベ(液化塩素)の説明



・ 塩素気化器室での塩素注入ラインの説明



・ 苛性ソーダとPACの性状等の説明

